

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在サウジアラビア日本国大使館

記入日 2015年10月11日

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

該当なし

2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向

該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	ハーリド・アル＝ファイサル・マッカ州知事は、Murooj Jeddah 住宅事業について話した。本プロジェクトには、12,000人の雇用機会創出、42,000戸の住宅建設が含まれる他、公園、娯楽施設、競技場、サファリパークなども建設し、ジッダ住民のための憩いの場となることを目的としている。	4日 アラブニュース
2	メトロ・ジッダ社は、総距離300kmのジッダ・バス網の設計、建設、保守事業に対する関心表明を10社に求めた。この事業には約830台のバス車両の設計、供給、O&Mが含まれる。	6日 MEED
3	水公社はマッカ貯水事業の第2フェーズ（容量76万m ³ 、事業費26万SR）を終えようとしている。試運転は2016年第2四半期末に実施予定。最終的には貯水容量を500万m ³ とする計画で、断水しても7日間は水を供給できるようになる。	6日 サウジガゼット
4	リヤド・メトロ3号線は不要な工事を見直し規模を縮小する方針である。2013年に発注された3号線(Red Line)は総延長40.9KM、総工費59億US\$。リヤド・メトロ全体では85駅、176KM、総工費230億US\$、2018-19年に完成の予定。	7日 MEED
5	アラブ人は毎年270億US\$という途方もない額を医療観光に費やしており、この費用は将来確実に増加すると見込まれている。GCCではドバイが医療観光分野でスイスやドイツ、イギリスの競合相手となっている。2011年以降50万人以上が医療観光で訪れており、年々増加している。理由としては、世界中から来る観光客、医療施設の整備、英語が広く使えること、およびコストが挙げられる。	8日 サウジガゼット

6	JLL の報告書によると、MENA 地域で中間所得層が入手可能な住宅不足が主要な問題となっている。サウジで住宅の購入可能価格は約 45 万 SR、支払い可能賃貸料は年間 4 万 7 千 SR である。不足の原因としては地価や建設費の高騰が挙げられる。	8 日 サウジガゼット
7	日本郵船は紅海沿岸のアブダッラー国王経済都市(KAEC)の港湾を運営する港湾開発会社(Port Development Co.)と合併で完成車専用ターミナル運営会社を設立した。年間 60 万台規模の完成車輸入に対応可能で、稼働開始は 2016 年第 2 四半期の予定。	9 日 サウジガゼット
8	ムクビル運輸大臣は、15 件の新規事業（総額 132.6 億 SR）に関する覚書をサウジ企業と結んだ。事業内容は道路の補修やリヤドの道路情報管理センターの運営など。	9 日 アラブニュース
9	NWC はマッカの貯水事業を進めている。第 1 段階では貯水容量 56 万 m ³ の貯水タンクを 2016 年第 2 四半期までに完成させる計画である（総工費 1.7 億 SR）。現在 60%が終わっている。第 2 段階では 130 万 m ³ の貯水タンクを Sharaye に建設する予定であり、全ての工事が終われば、マッカおよびマシャイルの貯水容量は 420 万 m ³ となる。	9 日 アラブニュース
10	中国鉄道建設株式会社（CRCC）が受注した聖地鉄道（メナ、ムズダリファ、アラファトを横断）が 6 年間の工期を経て完成し、今週都市村落省へ引き渡す。延長 18.5km 以上、総事業費 17.73 億 US\$、駅舎 9 つを有する。5 両編成で 7.2 万人を片道 1 時間で輸送できる。	9 日 アラブニュース
11	アラムコはダーランに従業員用住宅を 8,521 棟建てることを計画している。最初の 955 棟の建設事業を Azmeel Constructing 社（サウジ）に発注した。	10 日 アラブニュース
12	ジッダ市役所によると、ジッダには崩壊寸前の建物が 7,500 棟ある。調査を行った技術コンサルタントは、いくつかは改修で倒壊を防ぐことができるが、3,403 棟は取り壊す必要があると報告した。しかし、建物のオーナーは従わなかった。	12 日 アラブニュース
13	ホサイン水電力大臣が上下水道事業 36 件の契約を結んだ。総事業費は 9.06 億 SR であった。事業内容は、下水道網の整備、貯水槽の設置、浄水場の拡張、水事業の O&M 等。	11 日 SPA
14	長時間の試運転を終え、マシャイル・ムカッダッサ・マッカ・メトロ南線（MMMSL）は今巡礼期より運転を開始した。O&M は Prasarana Malaysia Berhad 社が 3 年間行う契約を結んでいる。合計 12 車両の電車はアラファト、ムズダリファ、およびミナを結び、1 日約 37 万人の巡礼者が利用すると予測されている。	22 日 サウジガゼット

15	ハラマイン高速鉄道は、2016年12月までに完成し、マッカーマディーナ間の巡礼者を輸送しているバスに取って代わる。18両（うち3両が一等車）の列車が35編成走る予定であり、200万人以上の巡礼者を運ぶ。マッカ駅とジッダ駅は殆ど完成している。	29日 アラブニュース
----	--	----------------

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

（サウジ労働事情）

- 1日 閣議で一時・季節労働査証に関する新規則が承認された。新規則において、一時・季節労働査証発行のために1件1,000SR、季節査証の延長に1,000SRかかるようになる。一時労働査証は、サウジで労働するために外国人労働者の入国を許可する特別な査証である。以前は、季節査証はハッジのためだけに発行されていた。（ア紙）
- 6日 労働省は、巡礼関係で働いている外国人労働者が合法居住者であることを確認するための「Kun Nithami」キャンペーンを開始した。9月23日まで行われる予定。（サ紙）
- 9日 多くの諮問評議会議員は、外国人労働者の雇用責任者を労働省から内務省に移すべきであると述べている。外国人労働者を雇用することがセキュリティ上の問題と関連すると述べた。（サ紙）

※ア紙：アラブニュース、サ紙：サウジガゼット